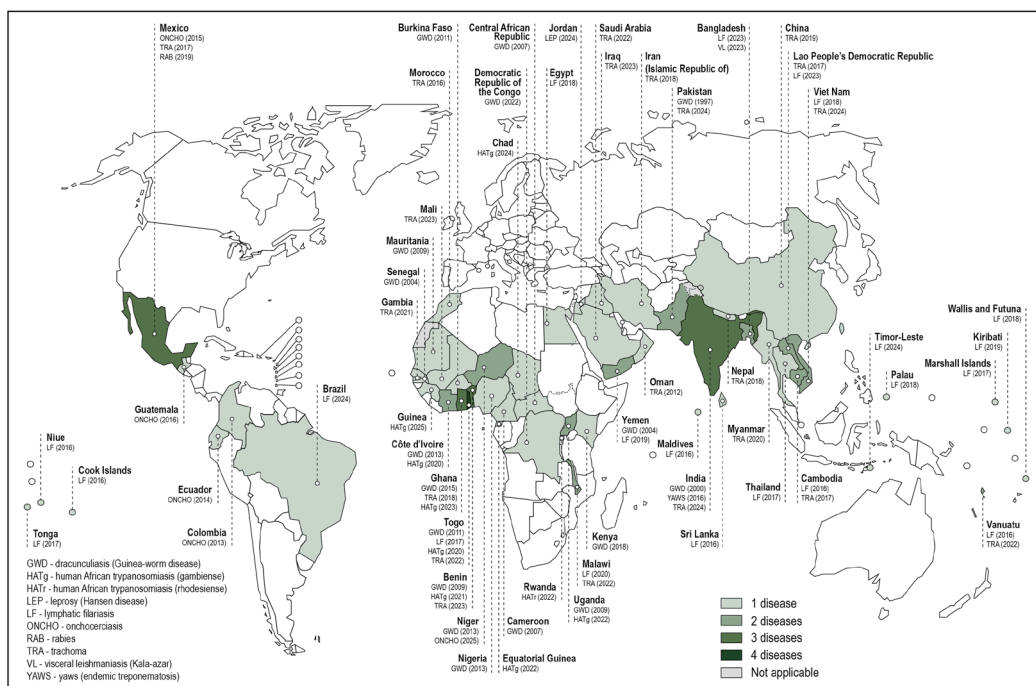




泉 清彦 (いずみ きよひこ)

1. 制御 (Control) : 発生率や死亡率を介入によって許容できるレベルまで抑えること。
2. 疾病の排除 (Elimination of disease) : 特定地域で疾病の発生をゼロにすること (例: 新生児破傷風)。
3. 感染の排除 (Elimination of infections) : 特定病原体の感染を地域単位でゼロにすること (例: 麻疹、ポリオ)。
4. 根絶 (Eradication) : 世界中で感染ゼロを達成し、その後の介入も不要となる状態 (例: 天然痘)。
5. 絶滅 (Extinction) : 自然界や研究



24 | 目で見るWHO No.93 | 2025 夏号

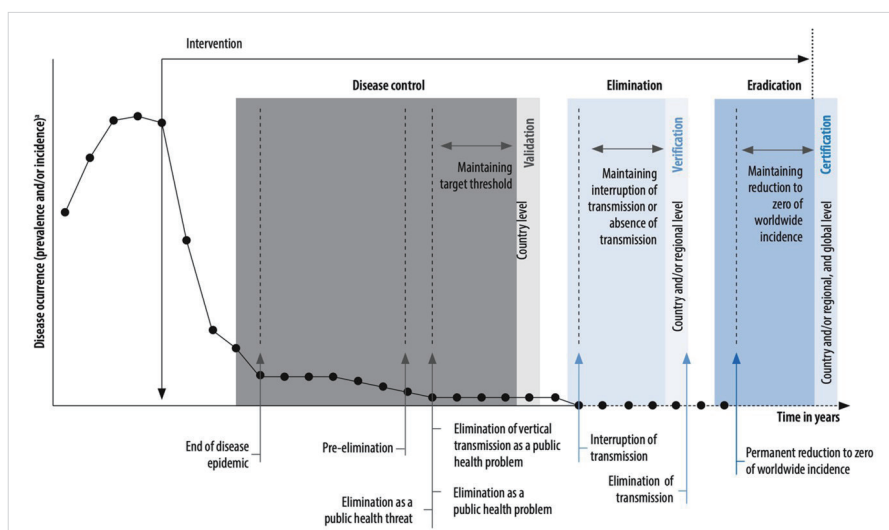
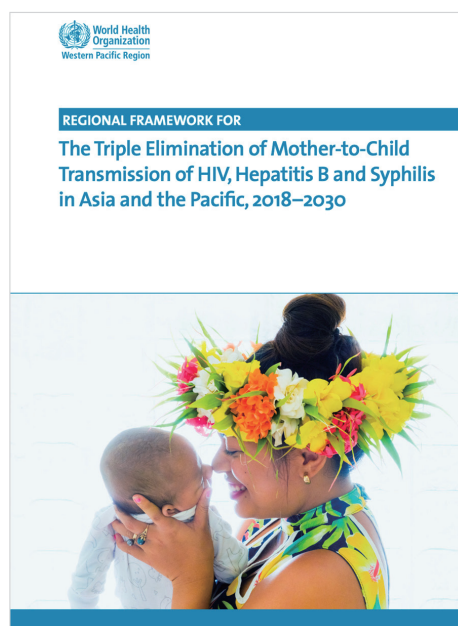


図2 (上)：感染症の制御、排除、根絶の過程（疾患により様々な用語が使用されている）（2）

図3 (右)：アジア太平洋におけるHIV・B型肝炎・梅毒母子感染排除フレームワーク（2018-2030年）（3）



室からも完全に病原体が消滅した状態（現在は例がありません）。

感染症を根絶できるかどうかを判断するには、三つの生物学的条件があります。第一に、ワクチンや治療薬、媒介生物対策といった有効な介入手段が存在すること。第二に、高感度・高特異度の診断ツールが利用できること。第三に、病原体が人のみを宿主とし、動物や環境に持続的病原菌がないことです。これらに加え、医療供給体制や監視システム、人材などの運用面の整備も欠かせません。

しかし、技術的に可能でも、すぐに根絶プログラムが立ち上がるわけではありません。限られた資源をどう使うか判断するために、費用対効果の分析が不可欠です。根絶による健康上の利益だけでなく、保健システム全体に及ぼす波及効果も検討されます。とはいえ、根絶には多額の初期投資と長期的な政治的支援が必要となり、慎重な計画とリスク評価が求められます。

さらに、社会的・政治的な側面も成功に大きく関わります。国際的に優先課題と認識されていること、効果的な介入手段があり、その有効性が実証されていること、政策決定者や科学コミュニティ間で共通理解が形成されていることが条件となります。国レベルでの政治的意思、国際社会からの支援、公平性を重視した

計画作りも不可欠です。

こうした背景のもと、近年、WHOは「多疾病排除アプローチ（MDE：Multi-Disease Elimination Approach）」を提唱しています。これは、複数の感染症を統合的に管理・排除し、効率性、効果性、公平性を高めながら2030年の目標達成を目指す戦略です。対象感染症が30以上に拡大する中、疾病別プログラムの縦割り運営が資源の重複やサービス断絶を生んでおり、MDEはその解決策として期待されています。

MDEは、天然痘根絶以降の経験を踏まえ、排除目標や進捗管理、認証プロセスにおける基準や用語の統一を重視しています。単なる「同時進行」ではなく、介入を統合し、より大きな社会的インパクトを生み出すことを目指しています。

その実例として、母子感染排除（EMTCT：Elimination of Mother-to-Child Transmission）が挙げられます。EMTCTでは、HIV、梅毒、B型肝炎を対象に、出生前ケア、分娩時管理、乳児ケアを通じて、母子感染を防ぐ統合的な取り組みが行われています。単独疾患対応ではなく、まとめて介入することで、効率性を高め、より多くの母子が必要なケアを受けられるようになっています。WHOではこれら複数疾患の排除達成を認証する制度も導入され、国々が統合的

に成果を上げています。（図3）

まとめとして、多疾病排除アプローチ（MDE）は、単一疾病にとどまらず、ライフコース全体や社会的決定要因を見据えながら、持続可能な感染症排除を目指す新たな考え方です。今後、世界の公衆衛生分野において、より包括的で実効性のある感染症対策の柱となることが期待されています。

参考資料

1. Dowdle WR. The principles of disease elimination and eradication. Bull. World Health Organ. 1998;76(Suppl 2):22-5. PMID: 10063669
2. Elimination and eradication goals for communicable diseases: a systematic review. Bull World Health Organ 2023;101:649-665 <https://pmc.ncbi.nlm.nih.gov/articles/PMC10523812/pdf/BLT.23.289676.pdf>
3. Regional framework for the triple elimination of mother-to-child transmission of HIV, hepatitis B and syphilis in Asia and the Pacific, 2018-2030 <https://www.who.int/publications/i/item/9789290618553>